

# 第8回 いわて希望ファンド

# 第5回 いわて農商工連携ファンド

## 公募中です >>> 8 / 2 (月) まで

### いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取り組みなどについて助成金交付による総合的な支援を行います。

#### 事業メニュー 起業・新事業活動支援事業

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業する者</li> <li>・ 中小企業者（法人または個人事業者）</li> <li>・ 特定非営利活動法人、農事組合法人等（地域資源活用枠のみ）</li> </ul>		
(1) 地域資源活用枠	(2) 起業・経営革新枠		
「地域資源」（農林水産物、鉱工業品またはその生産技術、文化財等の観光資源など）を活用する事業	創業者（創業・起業から3年以内）が取り組む事業または経営革新計画の承認を受けた事業		
助成率	1/2以内	助成率	1/2以内
※沿岸及び県北広域振興局管内の者が同地域で取組む事業は2/3以内			
助成限度額	200万円	助成限度額	500万円
助成期間	1年間 ※継続3年以内 （毎年審査）	助成期間	1年間 ※継続3年以内 （毎年審査）

#### 事業メニュー 中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発または企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者</li> <li>・ 小売・サービス業を営む県内に住所のある中小企業者（法人または個人事業者）</li> <li>・ 商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合</li> <li>・ 知事が適当と認める特定非営利活動法人</li> </ul>	
助成率	9/10以内	
	※店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数（助成対象期間×1/3）の算式によって算出された額の9/10以内」	
助成限度額	200万円	
助成期間	1年間 ※継続3年以内（毎年審査）	

### 第7回

## いわて希望ファンド 地域活性化支援事業 採択事業決定

第7回いわて希望ファンド地域活性化事業について、その内訳は、起業・新事業活動支援事業の地域資源活用枠が5件、起業枠4件、経営革新枠4件、支援事業2件になりました。

5月18日に開催された外部委員による審査委員会において、下記15件の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
地域資源	㈱村幸	盛岡市	地域資源を存分に活用した「いわて美味肉粕漬けシリーズの開発」と「岩手発四季折々の味わい全国展開」
	㈱イースト	北上市	自然植物由来成分の桑の葉化粧品の開発
	浄法寺漆産業	二戸市	「浄法寺漆」の付加価値化（精製加工、販路展開）及び浄法寺漆器の市場開拓
	㈱早野商店	岩泉町	食用ほおすきを主体とした地元農産物を活用した新ブランド「(仮称) 早野ファーム」の立ち上げ（食用ほおすき、リンゴ、梅、ブルーベリー等の加工品開発）
	三本木工芸	洋野町	岩手県産材を活用したオリジナル高級家具の新商品開発と販路拡大
起業	ブランドストーリー	盛岡市	岩手の食と農をテーマに、生活者起点の共感マーケティング活動の実践
	㈱ピーアンドエーテクノロジーズ	盛岡市	高性能USB接続型データロガー（データ収集装置）開発及び販路開拓
	陸中アイテム㈱	宮古市	鑄鉄製おもりのサビ止め技術開発による付加価値を高めた新製品開発及び販路開拓（鉛やサビからの脱却による海域環境保全）
	㈱リード	二戸市	帽子に安全性能の視点を取り入れた新商品「ほっと安心帽」による安全・安心の提供
経営革新	㈱ラージック	盛岡市	古着リメイクによる新たな商品開発・普及
	㈱盛岡原田	盛岡市	ソーラーパネルを設置する器具の自社商品の開発と販路展開
	㈱リエゾンパブリッシング	盛岡市	自費出版者向けコミュニティポータルサイトを活用した顧客サービス向上による自費出版事業
	㈱庭匠館	紫波町	県産間伐材を活用した「木製物置ウッドアート eco」の開発と販路展開
支援事業	岩手県中小企業団体中央会	盛岡市	観光関連産業の経営革新・連携推進の支援
	㈱いわて産業振興センター	盛岡市	いわて起業家大学、結いの市（チャレンジショップ支援）等による支援事業

# いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携（農商工連携）を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

## 起業・新事業活動支援事業

創業者または経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体を支援します。

市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 ⇒農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行うもの及びこれらの組織する団体（農協、森林組合、漁協、連合会も可）</li> <li>中小企業者以外で、県内の特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体</li> </ul> <p>注）申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・助成金の受領等を行う</p>
助成率	1/2以内 ※沿岸及び県北広域振興局管内は2/3以内
助成限度額	500万円
助成期間	1年間 ※継続3年以内（毎年審査）

## 農商工連携の事例

～エゴマ調味料の事例～

### 中小企業者（調味料メーカー）

大豆・小麦アレルギーが発生しない新たなエゴマ利用調味料の試作や岩手県産の食材と組み合わせたレシピ開発等を進め、販路開拓を図る。

### 農林漁業者（農業者）

エゴマには、アレルギー治療や動脈硬化などに効果があり、健康食品として注目を集めている。農業や化学肥料を使わない生産を進め、研修会や産地の情報発信を行う。

### 連携

それぞれが  
工夫を凝らした  
取組み！



新商品開発！

## 農商工連携の基本的要件

- 有機的連携** 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること
  - 「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。
  - 「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的かつ有効に用いられていることを指します。
- 新商品の開発等** 事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産又は需要の開拓が実現すること
  - 「新商品若しくは新役務（サービス）」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品又は役務であることが必要です。

## 第4回

# いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業 採択事業決定

第4回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、5月17日開催された外部委員による審査委員会において、下記4件の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	三研ソイル(株) 連携者：北村宮農組合	八幡平市 八幡平市	土壌に最適な有機質肥料の開発・製造と有機質肥料を活用した農産物の生産
	世嬉の一酒造(株) 連携者：農事組合法人アグリパーク舞川	一関市 一関市	一関地域の地場産麦芽を原料とする新しい炭酸飲料「こはるこーら（仮称）」の試作と販売ツールの開発
	きのこの SATO 販売(株) 連携者：街野崎商工	陸前高田市 盛岡市	「気仙の森の木質バイオマス」活用型のきのこ栽培拡大と加工品開発
支援事業	財いわて産業振興センター	盛岡市	ファンド採択事業者に対する事業化支援セミナーの開催等

## 手続きの流れ

- 公募
- 応募（助成金交付要望書提出）
- 事業計画ヒアリング
- 審査委員会（対象事業の決定）
- 採択通知
- 助成金交付申請書提出
- 助成金交付決定
- 交付決定通知
- 事業実施（着手）
- フォローアップ
- 事業実施の確認（1年後）
- 助成金の支払い  
※原則事業完了後の精算払い
- 実施事業の評価

## お問い合わせ先

（財）いわて産業振興センター

### 人材・技術開発支援グループ

- いわて希望ファンド担当／菊池 修二
- いわて農商工連携ファンド担当／畑中 宗紀

TEL.019-631-3825

FAX.019-631-3830

E-mail:joho@joho-iwate.or.jp